

## 宮ヶ瀬の自然、春～初夏のおすすめ！

### 宮ヶ瀬ビジターセンター

東丹沢の宮ヶ瀬では奥深い森や、四季折々の花、多種な生きものたちと出会うことができます。春～初夏のおすすめはこちら！ぜひ、豊かな自然を体験してください！

(県立宮ヶ瀬ビジターセンター スタッフ一同)

宮ヶ瀬ビジターセンターは平成28年3月末をもって閉館いたします。開館から長年にわたりご利用くださり誠にありがとうございました。



ハリエンジュの花を食べるニホンザル



古来より愛でられてきたヤマザクラ



子ども5人でかかえるモミの大木



吸蜜中のツマキチョウ



青く輝くセラドン石



給餌中のキセキレイの親子



森の「切株ウサギ」

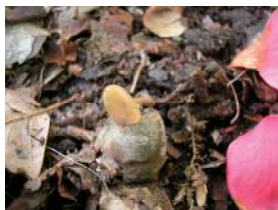
## 椿(つばき)の花から生えるキノコ

### 西丹沢自然教室

春に向かって生きもの達の活動が始まりつつある中、早くからその深い緑の葉の中に咲く赤い椿の花は一際目を惹きます。

その花の下に小さなキノコが出ることがあるのを知っていますか？ツバキキンカクチャワンタケです。

このキノコは椿の花の咲く時期(例年2月～4月頃)に見られます。おわん型のキノコの内側から飛ばされた胞子は咲いている椿の花に付着します。地面に落ちた花はこのキノコによって分解され翌年椿



ツバキキンカクチャワンタケ

の花が咲く頃にキノコが顔を出します。

このように特定の植物などを分解して栄養を得ている菌類はいろいろありますが、寒い季節に椿の開花といっしょに発生するツバキキンカクチャワンタケは見つけやすいキノコの一つです。

花を見るだけでなく、その下の地面も見てみて下さい。この小さなキノコに出会えるかもしれません。(木村)



ヤブツバキ



開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。

### 自然公園へでかけよう

#### 県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 愛甲郡清川村宮ヶ瀬 940-15  
Tel 046-288-1373 Fax 046-288-1162  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>  
**平成28年3月末で閉館**

#### 県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9  
Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

#### 県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513  
Tel 0463-87-9300  
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanove/>

#### 環境省箱根ビジターセンター

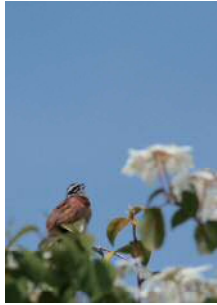
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164  
Tel 0460-84-9981  
<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

## 春を感じて気持ちを切り替えよう 箱根ビジターセンター

寒い日々が続くと暖かな春が待ち遠しいですね。春と言えば1年の中で一番ワクワク、ソワソワする時季です。今年はどうな生き物たちに出会えるだろうか？新たな面白い発見があるだろうか？こんなところに行ってみよう！…と、色々な妄想を膨らましてしまいます。

そんな春の来訪、3月になると少しずつ実感がわいてきます。足元を注意深く見て歩いてみてください。緑の玉のようなもの「フキ」の芽があちこちに出ています。雪の多かった箱根、その白い眺めの中に常緑樹とは違った緑色のものを見ると、とても新鮮な感じがします。フキは真っ先にその緑、春を感じさせてくれます。私はそんなフキを見ると一気に「春モード」に体が変化してしまいます。

次は耳を森の方に向けてみてください。今度は野鳥の奏でる合唱が聞こえてくるはず。野鳥たちも春の訪れを感じると、これまでおとなしかった姿から一変、賑やかな



ホオジロ

さえずりを始めます。彼らは春のすてきな出会いを求めて、我一番と大きな声を出して「婚活」をしているのです。そのさえずりのリズムは鳥それぞれ、キジの「ケーン、ケーン」というけたたましい声や「一筆啓上 仕り候」と言っているように聞こえるホオジロのさえずり、とても澄んだ声で「キ キョコ キー」と歌うイカル等々…、とてもここでは紹介しきれない程の野鳥のさえずりが楽しめます。



キジ

初春の箱根は、日射しがあればポカポカの気持ち良い気候です。新しい春のスタートを気持ちよくするために箱根まで春を探しに来てみませんか。(加藤)



フキ



イカル

## 丹沢のニホンジカ 秦野ビジターセンター

丹沢にはニホンジカが生息しています。林道や登山道を歩いていると出くわしたり遠くから聞こえてくる「ピャッ」という警戒の声で存在に気付くことがあります。また、出会わずともフンや足跡からニホンジカの活動が感じられます。

そんな丹沢のシカですが近年は生息密度が高まり、エサとなるササなどを食べるにより林床植生に影響を及ぼしています。

その対策として神奈川県では管理捕獲を実施したり



ニホンジカ

植生保護柵を設置してシカに食べられないようにしています。また2014年の大雪では多くのシカが冬を越せず、命を落としました。

雪解けの季節です。シカ達は冬を越すことができましたでしょうか。厳しい冬を乗り越えたシカ達を見かけたら、「よくがんばったね」と褒めてあげたいと思います。

元々は平地で暮らしていたシカを山へ追いやったのは人間です。人間の生活による影響でシカは山へ行かざるを得ませんでした。

ニホンジカを通じて丹沢の自然の問題を考えてもらえたらと思います。(石川と)



植生保護柵

### 【イベント案内】

#### 秦野ビジターセンター

「丹沢トーク」

内容:生きものや景色の写真・標本などを用いて、丹沢の自然を楽しくご紹介します。

開催日時:毎月第2・4土曜日 13:30~14:00

※その他の土・祝日は随時開催

参加費:無料

開催場所:秦野ビジターセンター 展示室

申込み:不要(10名以上の場合は事前にご連絡ください)

#### 箱根ビジターセンター

箱根地域自然に親しむ運動「芦ノ湖の春、花巡り開運ツアー」

内容:たくさんの春の花に癒されながら、芦ノ湖のパワースポットで1年間のエネルギーを充電!

開催日時:4月23日(土)9:30~15:30(予定)

参加費:おとな1,360円 小学生以下730円

申込締切:4月16日(土)必着

申込み:行事名、参加者全員の氏名、年齢、性別、電話番号を記載のうえ、往復はがき又はメールで箱根ビジターセンターまで。

Email:hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp